



周南コンピュータ・カレッジ 学生募集

企業が求める実践的な資格の習得と、幅広い経験を養います

在校生インタビュー

周南コンピュータ・カレッジの3つの特色

■ その1 厚生労働省設置の教育機関

周南コンピュータ・カレッジは、厚生労働省が設置した情報処理技能者養成施設です。

厚生労働省、山口県、周南3市、県内の主な企業・団体による第3セクター方式で運営し、全国11校のうち、中国地方では本校だけです。企業のニーズにあった資格や技術を身に付け、即戦力となる人材を育てる全日制2カ年の学校です。

■ その2 資格取得で100%近い就職率

資格は、自分自身の財産になるだけでなく、企業も資格取得者を望んでおり、就職活動を有利に行うためにも重要です。本校では、幅広い分野で10以上の資格を取得でき、毎年100%近い就職率を達成しています。(平成19年度就職内定率100%)

■ その3 ニーズにあった授業内容

授業では、プログラマーやシステムエンジニアを養成するソフトウェア開発コースと、コンピュータを幅広く自由に使いこなせる情報ビジネスコースという2つのコースを選択でき、最新鋭の機器や充実したカリキュラムで、基礎から応用までみっちり勉強できます。



1年生 中野絵里加さん

授業では、スポーツ大会などのイベントもあり、勉強で忙しい中でも、和気あいあいと楽しく充実した日々を送っています。今年、より一層、専門的な知識を身に付けたいです。



2年生 藤井雄介さん

先生方のご指導のもと、努力の甲斐あり、国家資格の「基本情報技術者」や「ソフトウェア開発技術者」を取得できました。4月からは、念願のシステムエンジニアとして、社会人として新たな一歩を踏み出します。

■ 学校見学会を開催します

平成21年度の入学者を対象に、学校見学会を開催します。ぜひご見学ください。

対象 高校生、または社会人

日時 2月14日(土)、21日(土)

いずれも10時～12時15分

問合せ 周南コンピュータ・カレッジ事務局
(光市浅江2260番1)

☎0833(72)8000 URL <http://www.scc.ac.jp>

表紙写真の紹介

ユリカモメの飛来数の減少を環境への優しさを考える契機へ

市民や水鳥の憩いの場である島田川では、1月から3月まで、冬の到来を告げる渡り鳥として知られるユリカモメの姿を見ることが出来ます。ユリカモメは、くちばしと足が赤く、ウミネコより一回り小さいのが特徴で、エサをあげると近寄ってくる大変愛らしい鳥です。しかし、残念なことに年々飛来数が減少しており、平成元年には最大約3000羽程度見られたユリカモメも、今年1月時点では最大30羽程度の観測となっています。なぜ減少しているのか、現在は決定的な理由が見い出せない状況ですが、ユリカモメを見ていると、自然環境の保護を訴え掛けているような気がしてきます。皆さん、島田川周辺を散歩の際には、ユリカモメを見守りつつ、自然環境を大切にすることが大切ではないでしょうか。



川辺には、ユリカモメのほか、ウミネコやカルガモの姿も見受けられました。